

新機能

・世界測地系対応

世界測地系のロック機能を追加いたしました。光波・GPS-RTK観測にかかわらず、世界測地系での観測には必須となります。

作業規程のパラメータを加味して、その座標系でロックします。日本測地系のデータに世界測地系でロックしただけではズレの原因となります。日本測地系のデータは、一旦、世界測地系に変換して使用する事となります。

新規現場を選択した際は、必ず設定を行ってください。

また、計算書などの印刷時には世界測地系であることが付加されます。

新規現場の計算	
現場NO	26 C:\WINACEBF
現場名	PSI区画整理
依頼人	
所有者	朝比奈・エス・トラスト
作成日	2003年1月8日
備考	
登録条件 <input type="checkbox"/> 印刷 <input type="checkbox"/> ドライブ <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/>	
測地系ロック <input type="checkbox"/> フリー <input type="checkbox"/> 日本測地系固定 <input type="checkbox"/> 世界測地系固定 <input checked="" type="checkbox"/>	

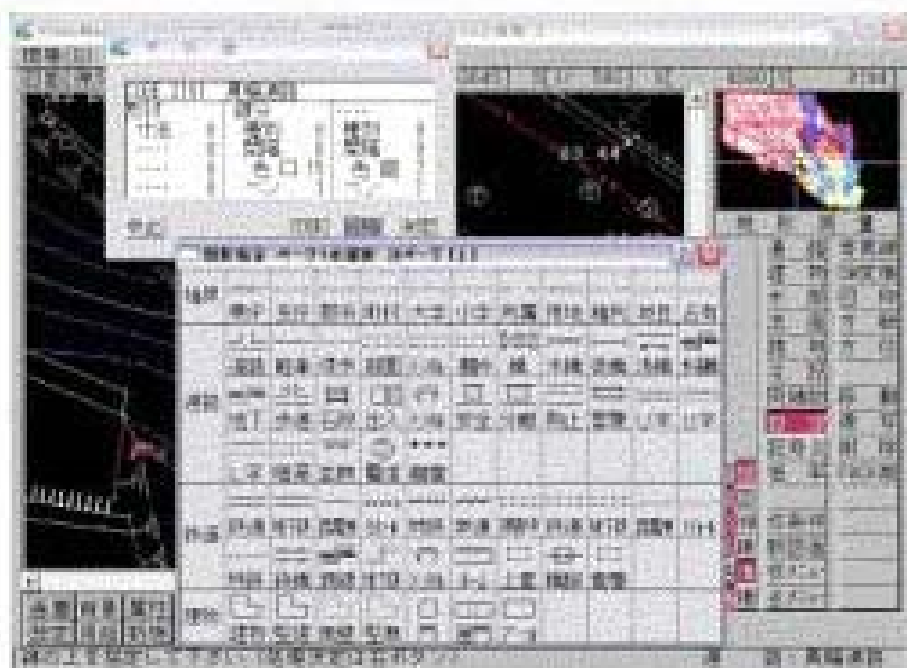
新規現場登録メニュー

新機能

・L字側溝での平行処理

今までは、真幅道路、L字側溝と別々に観測しなければ作図及びDM属性を付加する事ができませんでしたが、観測側が側溝なのか真幅道路なのか、また、平行側が側溝なのか真幅道路なのかのDM属性を選択できるようにし、1回の観測でL字側溝と真幅道路の図化及びDM属性付加ができるようになりました。

本来、L字と平行する現況は、真幅道路ですが、ガードレール等他凡例も図指による設定ができるよう配慮されています。



DM属性設定画面



DM属性選択メニュー

新機能

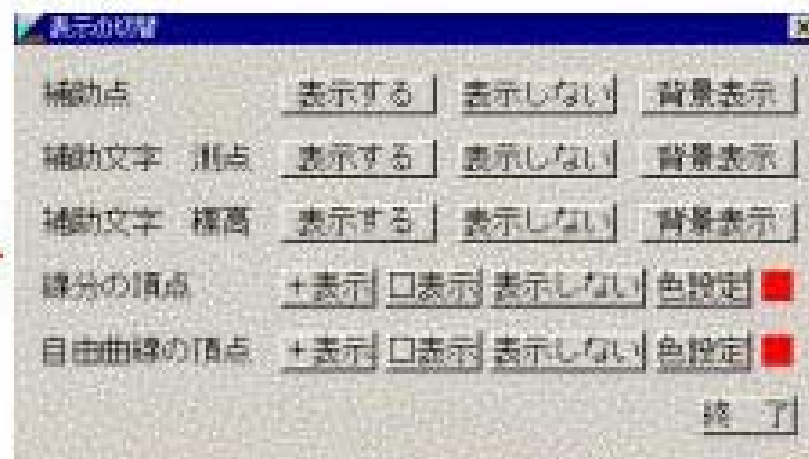
・補助表示切替機能

下部メニューに補助点表示切替のコマンドを追加しました。

DMデータやDXFを取り込んだ際、『どこに折れ点があるのか分かり難い』といったご要望にお答えいたしました。CAD上の線分・スプライン曲線・凡例・マークの真位置(折れ点)に、参照で補助点を表示・非表示を選択でき、色も自由に設定できますので、光波観測の補助点と区別する事もできます。

また、光波観測した補助点・補助文字・補助標高のデータのに対して、編集時に煩わしいものを表示・非表示・背景表示で選択できるように致しました。

下部共通メニュー



補助点切替メニュー

新機能

・文字検索機能追加

単点チェックや所有者名チェックに便利な同一種類の文字検索に連続検索機能を追加致しました。

検索する文字属性の選択を行い、範囲指定することで、特定の文字を連続で検索できる機能です。検索された文字は、画面でクローズアップされ、次検索を選べば次の文字に自動的に画面が移動します。

文字の編集		
	検索	
	移動	
	複写	
	削除	
	字変更	
	形変更	範移動
	幅変更	範参照
	幅高変	
	同形状	移字変
新		
区	引固定	反転
N	引任意	属性
点	参照	参照
略		対応
補	前メニュー	地番



新機能

・プリンター-CAD画面色の出力機能追加

成果品の出力前に、編集作業をし易くするために設定した、画面色でのプリンター出力機能を追加いたしました。また、ペン設定でも画面色設定でも色設定ではカラーパレットを使用し、デフォルト(初期設定値)機能も追加致しました。

また、ペン幅設定も追加して、より多彩な表現ができるようになりました。

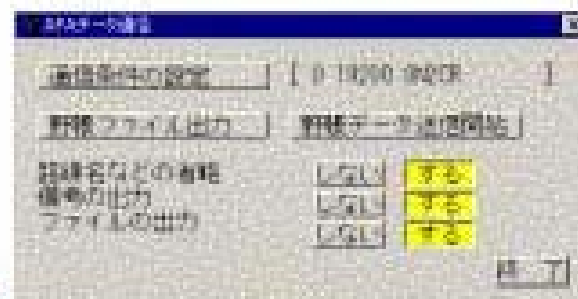
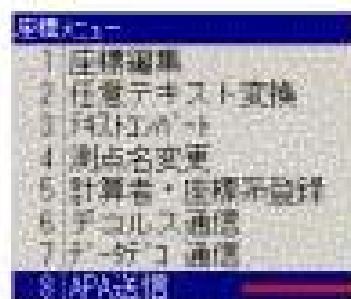


機能アップ

・APA送信にファイル出力機能追加

RS232Cオンラインでの接続転送しかできなかった野帳データ出力を、TXTデータとしてファイル出力(オフライン)を追加致しました。

また、APAファイル出力の際、ファイルの複数選択・全部選択を可能にし、保存場所、ファイル名の任意設定を可能に致しました。



APAデータ通信設定メニュー



機能アップ

・座登連に標高、マーク入力機能追加

光波観測をしていなくても、CADデータから座標登録ができる便利な機能でしたが、座標入力時に標高入力も同時にできるよう強化しました。
また、入力しながらマーク種別の変更が行えるようになっています。

マップデジタイズ時に、3Dで座標登録が行えます。

参照・補助機能		
	距離	縮尺
MK有	半径	圓弧角
	直径	諸座標
	内角	可成
	方向角	測定機
	面積	可成
	周長	
	寸法	座標登録
新		案件
		点名検索
		標高検索
設定	染設定	
補助	前画面	

測点名 [] 標高 0.000

現在 X Y H
0.000000 0.000000 0.000

[]
0.000000 0.000000 0.000

点番 増番 次測 標高 上書き 終了

座標登録メニュー

No	種	寸	色	パ	No	種	寸	色	パ
1	●	4	15	1	13	○	15	15	1
2	+	15	15	1	14	⊕	15	15	1
3	-	15	15	1	15	⊗	15	15	1
4	◇	15	15	1	16	⊙	15	15	1
5	○	15	15	1	17	⊘	15	15	1
6	○	15	15	1	18	△	15	15	1
7	⊕	15	15	1	19	▽	15	15	1
8	⊕	15	15	1	20	□	15	15	1
9	⊕	15	15	1	21	□	15	15	1
10	⊕	15	15	1	22	□	15	15	1
11	⊕	15	15	1	23	田	15	15	1
12	⊕	15	15	1	24	⊗	15	15	1

既定編集 決定 中止

マーク選択メニュー

機能アップ

・平行線選択時図指による設定機能追加

真幅道路に平行に、フェンスが立っている...そんな現場に最適な機能です。平行線コマンドを選択し、設定メニューより平行線側のDM属性を図指、CODEIによって選択をします。観測を片側だけ行い、観測終了時にオフセット距離を入力すれば両線分とも作図され、DM属性も付加されています。



平行線設定メニュー

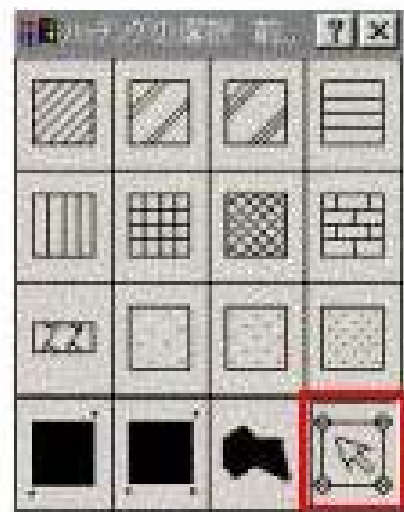


DM属性選択メニュー

機能アップ

・閉合図形のハッチング機能追加 1

今まで各頂点を選択しなければならなかったハッチング機能を、閉合図形は中心指示により塗りつぶすように機能追加を致しました。



コマンド



機能アップ

・閉合図形のハッチング機能追加 2

閉合図形のハッチング設定に検索範囲、タイムアウト機能を追加致しました。また各種別ごとにハッチングの詳細設定を案内表示(HELP機能)しましたのでより便利です。

N0	表示色	ペン	①	②	③
1	1	1	0	0	0
2	2	1	0	0	0
3	3	1	0	0	0
4	4	1	0	0	0
5	5	1	0	0	0
6	6	1	0	0	0
7	7	1	0	0	0
8	8	1	0	0	0
9	9	1	0	0	0
10	10	1	0	0	0

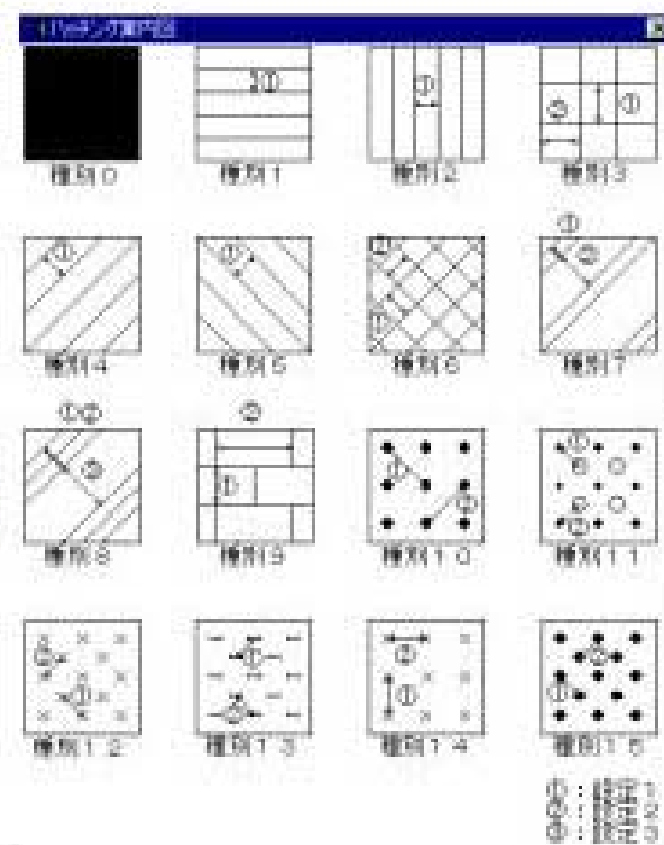
中止[ESC] 詳細設定[F10] 案内[F2] 保存終了[F10]

詳細設定

検索範囲 100.000 mm(実寸)

タイムアウト 30 秒

中止[ESC] 決定[F10]



機能アップ

・軸変換に文字方向選択機能追加

軸変換を行なう際に、基準図面に合わせ変換図面に文字の回転をかけるか固定するかを字固、字回で選択できる機能を追加致しました。

・同2点に座標変換選択機能追加

同2点を行なう際に基準図面を基に座標値を変換するか固定にするかを座変、座固で選択できる機能を追加致しました。座固にすることで、基準の2点がないラスターデータにも(座標値をもたない図面等)にCAD図面を合わせることが可能になりました。

機能アップ

・DXF入出力エクスペローラ対応

DXF出力は各項目設定が同一画面にて行えるよう変更致しました。設定後に即出力する事が可能になりました。

DXF入力もコンピュータ上から閲覧できるファイルならどこからでも入力を可能に致しました。



DXF入力設定メニュー



DXF出力設定メニュー

機能アップ

・テキストファイルエクスプローラ対応

SIMA変換等のテキストファイルの入出力をエクスプローラ対応に致しました。各項目選択後即変換を可能に致しました。また、SIMA取り込みの際も点番・点名での取込選択機能を追加致しました。



テキストファイル入力設定メニュー



テキストファイル出力設定メニュー

機能アップ

・ラスターファイルエクスプローラ対応

ラスターデータの呼び出し時にIMGフォルダーを限定で検索しておりましたが、これをエクスプローラ対応にし、ネットワーク上を含めどこからでもラスターファイルを読み込めるように致しました。また、保存時にアタッチファイルを作成しますので、ラスターデータは元の場所のままで、次回CADデータ読み込み時に自動的にラスターファイルも呼び出します。



機能アップ

- DMオプションに自動図郭取得機能追加

DMデータを出力する際に図郭データ(座標値)の入力を自動で取得できる機能を追加致しました。また、傾いた図面に対しても4点の自動認識を行います。

図郭座標値の初期化もワンタッチで簡単操作です。

データ入力 (図 郭の入力)

図郭識別番号 [03-44-1] (右表より選択)

図郭名称 []

地図情報レベル [500] (250, 500, 1000, 2500, 5000, 10000)

タイトル名 []

修正回数 [0]

NO	図郭番号
1	03-44-1
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

修正
なし
1
2
3
4

図郭座標左下 X:[126876] Y:[-12773] (単位:m)
 右上 X:[127066] Y:[-12409] (単位:m)
図郭座標左上 X:[127066] Y:[-12773] (単位:m)
 右下 X:[126876] Y:[-12409] (単位:m)

座標値の単位 [1] (1:mm 10:cm 999:m)

作成年月 [] (西暦下2桁と月で表現)
現地調査年月 [] (西暦下2桁と月で表現)
撮影コース数 []
入力機器名 []
公共測量承認番号 []
作業機関名 []

前 次 先 末

INDEX1 INDEX2 図 郭 グリッド 撮 影 図郭取 図初期終了

機能アップ

・DMオプションに読込設定機能追加

DM読込でDAT (図面データ) ファイルを読込む際に、等高線(コンター)をライン(単線分)として読込むか、スプライン(自由曲線)として読込むかを設定することができるようになりました。

これは、スプライン曲線の制御点が少ない場合、原図と異なった等高線(コンター)を表示するものを解消する機能です。



DMファイル読込メニュー

機能アップ

・DMオプションに保存設定機能追加

DM出力時は、各種システムに合わせる事ができるように面データ(法面、擁壁、被覆など)の内部パターン出力のON/OFFや、回転のかかったマーク(消火栓、照明灯など)を回転付きで出力するかどうか、等高線の出力方式をショートベクトルに分割して出力するか、構成ポイントのみの出力にするか選択できるようにしてあります。これにより、DMフォーマットを受け取る側のシステムで重複表示を避けたり、回転がかかったマークにさらに回転を加味してしまうといったトラブルが避けられます。受け取る側のシステムに合わせて機能を組み合わせてご利用いただけます。



DMファイル読込メニュー